



MBニュース



【2017年産メンマ原料情報】

丸松物産株式会社

2017年産メンマ原料の生産は終了致しました。生産量は2016年が推定3,500トンに対し、2017年は推定3,700トンで増産しております。この要因は、以前みかん畑に転作した農家が、昨今の原料安からメンマ原料の麻筍畑に戻りつつあるとの事です。増産はしておりますが、中国国内の生鮮筍塩蔵筍の需要は依然として高く、実際に原料として仕入れる事ができた数量は、昨年並みでした。弊社では品質を重視して仕入れており、既に年内の在庫は確保しております。中国では人件費や資材費、燃料費が高騰しており、また、人民元高も影響して中国製品は値上がりしております。日本国内でも値上する製品が相次いでおりますが、弊社では企業努力を重ねた結果、**今年のメンマ原料価格を据え置くことに致しました**。国内の野菜も高騰しておりますので、繊維が豊富なメンマを炒め物などの材料としてご使用してみても如何かと思います。

使用できる部分

メンマ原料になる麻筍は1m~1m50cm程成長したものを収穫致しますが、使用できる部分は55%だけです。今年3,700トンの収穫量はありますが、実際に原料として使用できるのは2,000トン程になります。この原料の中から品質の良いものを仕入、更に弊社中国工場で精選し、山形工場は30kg原袋で3万袋以上を輸入しております。



昨年12月12日テレビ東京「ありえへん∞世界」で、弊社中国工場と山形工場が放送されましたDVDをご好評につき追加で**無償進呈**させていただきますので、弊社営業までお問い合わせ下さい。

【2017年産裏白木耳・大黒くわい生産状況】

・裏白木耳

裏白木耳の生産は1月で終了致しました。主な産地の福建省では天候被害もなく順調に生育したとの事です。昨年12月にご報告したように、農地が道路や建設用地に転用され、また、農家の栽培意欲の減退から、栽培面積が減少しておりますが、原料の大幅な減産は無いとの事です。しかしながら、中国国内の人権費、資材費、燃料費、人民元高の影響から製品価格は値上げせざるを得ない状況との事です。

・大黒くわい

大黒くわいの主な産地広西省では、大きな天候被害もなく原料は順調に生育し、昨年11月の中旬から開始された生産も2月で全て終わりました。生産量も昨年並みで原料価格も大きな変化はないとの事です。人件費や燃料、資材費は高騰していますが、中国国内の需要の落ち込みや輸出量の落ち込みから、出荷を促すために製品価格は現状を維持できると予測されます。

【リニューアル商品4月上旬発売予定】

	商品名	SDF穂先メンマ水煮 1kg	
	商品説明	食塩を一切使用していないため脱塩する工程の必要はなく、開封後、すぐにご使用頂けます。	
	主要原材料	穂先メンマ	
	賞味期限	製造日より8ヶ月	
	使用上の注意	開封後はお早めにお召し上がり下さい。	

クックパッド・丸松物産キッチンへGO



自社製品のアレンジメニューを「クックパッド 丸松物産」で検索していただくとご覧いただけます。